

ともに生きる社会めざして

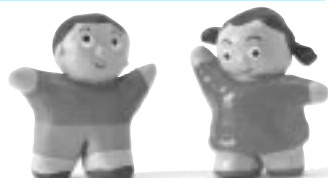
パートナーシップ プラン2005

男女共生社会への
市民行動計画です

社会情勢にあわせて
見直しました

市では、この三月、「パートナーシップ・プラン2005」を策定しました。諮問機関である「秋田市男女共生社会に関する懇話会」からの提言を受け、平成八年に策定したプランを見直し、社会情勢の変化に対応できるようにしたものです。

新しいプランの実現の期間は、二〇〇五年までの五年間。家族・家庭を出発点として男女共生意識を育てる 男女共同参画の人間らしい生活環境をつくる すべての市民が充実した一生をおくる —の三つの視点で考えた家族・家庭、教育、労働、社会参加、



概要版が8月下旬に完成します。市役所市民ホールでさしあげますので、ご利用ください。プランは市ホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.akita.akita.jp>

問い合わせ

男女共生政策室 ☎(866)2141

福祉、健康、推進体制の七分野の施策や事業を達成していきます。

男女共生社会は 21世紀を支える ひとつのあり方です

「男だから」「女だから」という固定的な意識は、私たちの行動や生き方を決めつけてしまう場合があります。それは、家庭や職場、学校、地域など様々な場面で起こり、親から子、孫へと世代をまたがって繰り返される難しい問題です。その人なりの生き方を尊重していきいきと過ごせる社会が、いま求められているといえます。市では、プランを効果的に推進していくため、庁内に「男女共生

社会を進める行政連絡会議」をつくり、全庁的な連携をはかりながら施策や事業を行っています。

例えば、仕事と家事、育児、介護との両立ができる支援体制を整えること、労働時間の短縮やフレックスタイム制の導入を企業に呼びかけ、多様な価値観に応じた職場環境をつくること、審議会などに女性を積極的に登用し、十七年度までに女性比率を三〇パーセント（現在二九・九パーセント）とすること、学校のカリキュラムを見直し、小中学生にも男女共生の意識づくりをすすめることなどです。

家庭や職場、地域から始まる男女共生社会。男女がお互いに、よく協力し、尊重し合う生き方をちよつと考えてみませんか。

こんな活動で計画を 推進しています

「きらめく北の男女フォーラム」を開いています

市民の実行委員により企画・運営している、男女共生を考えるためのフォーラム。今年も、10月11日、英国アカデミー賞を受賞した映画「リトルダンサー」を上映します(次回の広報でお知らせ)。

女性人材リストを作成しました

女性登用を促進するため、各分野で活躍している女性を人材リストへ登録し、市審議会の委員として推薦しています。リストへの登録は随時受け付けています(現在約200人登録)。

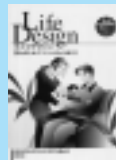
「UmだすかUmだども」の発行

市民のかたで編集委員を構成し、年2回発行している情報誌。身近な視点から男女共生に関する問題を考えます。町内会での回覧をお願いしています。



「ライフデザイン」の発行

男女共生に関する様々なテーマを詳しくまとめたガイドブックです。年1回発行。最新号は「性と人権」がテーマ。



女性のための行政学習会

公募と各種団体からの推薦者で構成される女性の学習会です。市政について学ぶことで市の審議会などに加わっていただく人材を養成するものです。

